

こんにちは 新社会党です

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2016年8月号

発行所：新社会党 発行者：松林健宏
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 164円1部150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp E-mail:honbu@sinsyakai.or.jp

新たな「戦前」へ逆走する日本社会

戦後71年の
8月15日

戦争は自衛から始まった

8月15日は日本が、「ポツダム宣言」を受諾し、無条件降伏をした日です。アジアで2000万人、日本で310万人の多大な命を奪ったアジア太平洋戦争の終結から今年8月で71年を迎えました。日本は今こそ、その反省と教訓を生かさなければならぬのに、安倍政権は逆走しています。

1931年9月、関東軍の南満州鉄道の爆破を突破口に、日本は足掛け15年にわたる、暗く長い戦争の時代に突入しました。日本は「帝国自存」を名目に中国東北部を一気に占領、傀儡国家「満州国」を建国し、中国全土を侵略しました。

さらに1941年12月、日本は「自存自衛の為」(宣戦詔書)として米国に宣戦布告しました。同時に「大東亜共栄圏」「八紘一宇」の大義を掲げ、アジア諸国を占領しました。そして国民に「一億火の玉」を呼びかけ、マスコミ界、教育界はこぞって戦争を後押し、戦争に非協力的なものは「非国民」とされました。

日本国民は8月15日に戦争が終わったことを「玉音放送」を通じて知らされました。その敗戦から71年。戦争の反省から生まれた日本国憲法と戦後民主主義が、今や大

きな曲がり角に差しかかっています。「改憲」が具体的な政治日程に上がり、日本社会が新たな「戦前」に向かっているからです。

9条を変え平和国家否定

安倍政権は憲法9条改悪を本丸としています。第一次安倍内閣は2006年12月に教育基本法を改悪し、「愛国心」「公共」「伝統」「道徳」を散りばめました。第二次安倍内閣の2013年12月には「特定秘密保護法」の制定を強行。第三次安倍内閣では解釈改憲による集団的自衛権行使容認を閣議決定し、2015年9月に安全保障法(戦争法)を制定しました。今や日米ガイドラインによる日米共同軍事訓練は日常化し、憲法9条の空洞化が極限状態に達しています。

また、権力のマスコミと教育への介入と統制が露骨に進められ、沖縄の辺野古新基地や高江のヘリパッド

建設が、県民の意思を全く無視し、警察等の公権力で住民を抑圧・弾圧して強行されています。

しかし深刻なのは、このように暴走する安倍政権の支持率が未だ50%を維持していることです。

やうに野党の団結と共闘

今年の「8・15」は特別の意味があります。参議員選挙の結果、改憲に賛成する衆参両院の議員数は3分の2を超えました。憲法9条の改悪を狙う自民党が過半数の議席を得ました。

これを機に「改憲と戦争」か、それとも「護憲か平和」かの激しい攻防が始まっています。このたたかいに勝つには、全国で戦争法に反対してきた市民・労働者の運動をさらに広げることです。また、成果をあげ始めている格差と貧困、戦争に反対する全野党の共同運動を国政、首長選挙でさらに強めることです。

日本を「いつか来た道」に戻らせな



いたために、声をあげてしっかりと進みましょう。

憲法も民主主義もない沖縄

——ヘリパッド着工、国が県を堤訴

基地増強に反対！連帯して闘おう

この国は米国の属国か。参院選の投票が終わった翌日のこと、安倍政権に「憲法改正」に必要な議席を与えなかった沖縄に非情なバッシングが浴びせられました。政府は、住民があれば反対している米軍北部訓練場のヘリパッド（ヘリコプター着陸帯）建設を強行着工しました。また、辺野古新基地建設を巡る和解協議を実質的に打ち切り、翁長雄志知事の海水面埋め立て取消しに対する国の是正指示に従わないのは違法とする訴訟を起こしました。沖縄は憲法も民主主義もない番外地と化しています。

参院選で基地反対候補が圧勝

人殺しに習熟するために日夜訓練に励む米海兵隊らが市民生活を共にする沖縄。米元海兵隊員による女性暴行殺害事件が起き、6月に6万5000人が参加する怒りの県民大会が行われました。そして、直前の県議選では新基地反対派の与党が勝利し、7月の参院選では同じく基地撤去を求める伊波洋一さんが現職閣僚を10万票以上の大差で破りました。ところが、安倍政権は淡々とヘリパッド建設に着工しました。

集約・新設されるヘリパッド

米軍訓練場のある沖縄本島北部はヤンバルクイナなどの固有種が生息す

る自然の宝庫。そこに約7800畝の訓練所場が居座り、日夜人殺し訓練が行われ、いざ戦争に備えています。その訓練場の51%が米軍には不要となり、集約・新設を条件に日本に返還されることになりました。これに伴い、ヘリパッドも狭くなった地域に集約・新設されることになりました。

しかも、使用する機種は欠陥機オスプレイが主役。そのまき散らす騒音は凄まじく、睡眠を妨げられて学校を休む子どもも出ています。

沖縄県民を叩き、国民を欺く

ヘリパッドも辺野古の新基地も、すべて戦争につながっています。沖縄は海外で戦争を行う米軍の出撃基地。

基地の縮小・撤去が平和憲法の下に復帰した沖縄県民の切実な願いとなっています。

にもかかわらず政府は、①北部訓練場の機能強化には目をつぶり、不要となった敷地の返還を優先、②しかも、その敷地返還を辺野古新基地建設の取引条件にリンクしています。このトリックを用いて、「辺野古唯一」の撤回を求める沖縄の要求を一蹴し、菅官房長官は本来両立しえない「協議と裁判」を並行して進めると国民を欺きました。

炎天下で続く沖縄県民の抵抗

この炎天下、沖縄では体を張った県民の必死の抵抗が続いています。安保法制（戦争法）が具体化すれば、米軍と自衛隊の共同訓練が日常茶飯事になり、本土の自衛隊基地が日米共同使用されます。

沖縄の基地問題は、他人事ではありません。安倍政権の憲法破壊を許さないたたかいとして連帯しましょう。



我が物顔のオスプレイ

新社会

お問い合わせ先